

令和5年度 第2回 三ヶ日西小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月26日（木）13時30分～15時30分まで
- 2 場 所 浜松市立三ヶ日西小学校 会議室
- 3 出席委員 河合 成典、藤山 美恵子、伊藤 暢洋、河合 文月、黒柳 千賀子、
夏目 勝弘
- 4 欠席委員 鈴木 栄男
- 5 オブザーバー 井口 敏浩（三ヶ日協働センター職員）
- 6 学校支援コーディネーター 池田 易史、酒井 恵子
- 7 学 校 宮田 真由美（校長）、中村 圭介（教頭）、竹内 淳（教務主任）、
中村 昌代（CS担当）、山田 雅美（CSディレクター）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
 - (1) 議長の選出について
 - (2) 活動状況報告
 - ① ボランティア活動
 - ② 全国学力学習状況調査の結果
 - (3) 諸連絡
- 10 会議録作成者 CSディレクター 山田 雅美
- 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、藤山委員から酒井委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

(2) 活動状況報告

① ボランティア活動

議長の指示によりC・S担当中村より、別紙資料に基づきボランティア活動についての説明後、委員からは、以下の発言があった。

- ・とても多くのボランティアの方が名乗りを上げて下さりいいスタートができたと思う。この後、みかんが忙しい時期になるので、どうなっていくか心配な面もある。（酒井委員）
- ・河合文月委員が作成してくれたデータベースを元に必要な人材に連絡をとっている。（酒井委員）
- ・授業に入ってみて、可能な限り子供たちの特徴や個性の情報があると助かる。どこまで声を掛けたらいいかわからない。黙り込んでしまう子がいて、困ってしまうことがあった。（河合成典委員）
- ・図工の授業や、バス待ちボランティアに参加したときに、バス待ちでは当初何をしていたかわからないことがあった。外へ出てしまう子もいて大変な面もあった。最低限守って欲しいことを学校と共有したい。（河合文月委員）
- ・先生方も忙しいとは思いますが、ボランティアに、学習の中での支援のポイントをこれまで以上に伝えていただけると助かる。ボランティアを入れることで先生方が助かれば

良いし、ボランティアも回数を重ねれば、さらによい関係になると思う。（河合文月委員）

- ・ボランティアが集まるか心配していたが、48人も集まってくれた。今後はどのようなボランティアが必要なのかを考えていきたい。（河合文月委員）
- ・インフルエンザやコロナ等で休んだ子に対してキャッチアップしていく必要があると思う。（河合文月委員）
- ・バス待ちボランティアに参加しているときに、外に出てけがをした子がいた。外へ出てしまうと学童の子と区別がつかなくなってしまう。2人体制で中と外で分担する方法もあるのではないかと思った。（池田委員）
- ・先生方と互いに伝え合える関係性を築くことが大切だと思う。（河合成典委員）
- ・授業の様子を見ると、クラス全体が同じペースでは無理だと感じる子がいる。地域のボランティアは必要だと思うが、学習内容によっては、保護者があまり入らないほうがよいものもあるのではないかと感じた。（藤山委員）
- ・今後ボランティア活動を続けていくにあたって、現在の43人の数が適切なのかを考えていきたい。（藤山委員）
- ・家庭科のボランティアは多くの参加があり助かる。体育の水泳の授業も助かった。国語や算数等の授業のボランティアの関わり方については、手探りの部分がある。（校長）
- ・今年度は年度当初にボランティアへのお誘いの声を掛けてくださった。ボランティアの数については、今後足りない所を足していく形でも良いと思う。（黒柳委員）
- ・三ヶ日町全体の子供を地域みんなで育てていけると良いと思う。（校長）
- ・先生方からするとすごくありがたく感じている。去年は0人だった。来年度はもっと早めに声を掛けていきたい。ボランティアと子供との関わりについては、子供の個性がそれぞれあるので難しいところがある。学習の中で、教師がボランティアに対してどこまで伝えてよいのか、どこまで頼んでいいのかも難しいと感じるところもある。（SC担当：中村）
- ・支援の必要な子がいる場合は丁寧にやっていきたい。放課後の対応や、夏休みの宿題の支援なども行えると良いと思うが、今の段階では十分だと思う。（校長）
- ・ボランティアの方々のことがだんだん分かってきたので、担任の先生と直接話させてもらい、今後は適材適所をお願いしていきたい。来年度はボランティアの皆さんに一度集まって頂き、話ができたら良いと思う。（酒井委員）
- ・図工、家庭科等ボランティア単位で話し合い、リーダー等を決めたりすると思う。ボランティアは1年契約なのか、自動継続なのか。（池田委員）
- ・年度終わりに来年度もお願いできるか確認する。（酒井委員）
- ・地域の方が見てくれるのはありがたいし、とてもいいことだと思う。（伊藤委員）
- ・授業参観ができて非常に良かったと思う。また、母校なのでよりよくなって欲しい。（夏目委員）

② 全国学力学習状況調査の結果

議長の指示により教務主任竹内が、別紙資料に基づき全国学力調査の結果について説明があり委員からは、以下の発言があった。

- ・家庭科の授業にボランティアが入った時、ボランティアが多くいると、すぐに教えてもらおうとする子がいる。全てを教えるのを控えるのも必要と感じた。（酒井委員）

- ・昔は説明を聞いて、自分たちで順番にやっていけたはず。今の子どもたちはすぐ聞こうとするとところもある。（藤山委員）
- ・授業に関しては職員が一生懸命取り組んでくれている。家庭学習が大事。特に読書が低迷している現状があるため、読み聞かせなど、お薦めの本の紹介等で、読書の機会を増やしたい。（校長）
- ・5年生は10分間素話を一生懸命聞いてくれた。子供たちに、力はあるので育てる環境が大切と感じた。（藤山委員）
- ・お話は好きだから、ブックトーク等で紹介してあげるといいと思う。読み聞かせの方でも子供たちの興味を引けるように何かしていけたらいいと思う。（酒井委員）
- ・体育で跳び箱など多くあり、子供たちがどんどんチャレンジしていて昔と違うと思った。支援員等が増えるとさらに安全に行えるのではないかと。子供たちの興味を引ける様な授業改善ができるといいと思う。（河合成典委員）
- ・子供たちに考えさせる授業をしていた。4年面積の授業で、教室の面積を計算していた。実際身近にある物に置き換えると分かりやすい。おもしろく工夫されていると感じた。（伊藤委員）
- ・全国学力調査の問題は、国が求めていることが出ている。創造性、知識だけでなく、どのように伝えていくかが求められている。本校は表現力の育成にも力を入れている。（校長）
- ・6年生はパソコンの授業をやっていたが、個人差が大きいため、この学習には、ボランティアをつけると良いと思う。全国平均を下回っているが、昔とそんなに変わっていない。浜松市内でどうなのか。友達に満足している等の項目は低いため、学校運営協議会でも協力できることがあればいいと思う。（河合文月委員）
- ・4月に行われたアンケートなので、今とれば結果は違うと思う。西小のいいところは縦割りで行事があったり、学年団で壮行会が行われたりするところ。上の学年の子を見て下の学年の子が育っている。（校長）
- ・2年生の授業で、森のくまさんの音楽で掛け算を楽しそうにやっていた。そのとなりの1年生の教室では算数の授業が行われていて、その音楽が聞こえていた。（黒柳委員）
- ・今日、学校に歩いて来る時に子供たちが元気に声を掛けてくれた。授業もモニター等を使って昔との違いを見ることができた。コロナで、様々な行事がなくなり、ラジオ体操もなくなった。今年から少しずつ行事が戻りつつあるので積極的に地域の活動に参加してほしい。（夏目委員）
- ・子供たちが落ち着いているのは、先生方の取り組みの成果だと思う。（池田委員）
- ・子供たちの成長を、次に来た時に楽しみにしたいと思う。（酒井委員）

(3) 諸連絡

議長の指示により、教頭より別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書の取り組み報告について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

12 その他連絡事項

- ・学校運営協議会の自己評価について2月9日に発表する旨、教頭より説明があった。
- ・次回は令和6年2月9日（金）13時30分に開催する旨の報告があった。